

事業所名

通園(デイサービス)事業 おれんじくらぶ

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

7年

2月

21日

法人(事業所)理念		法人理念:『共に生き、共に育つ』 事業所:○子ども一人ひとりを尊重し、安心して自分らしく生活できるよう支援します。 ○家族や子どもに関わる人々・地域が共に学び合い、育ち合えるよう取り組みます。						
支援方針		一人ひとりの実態を把握し、適切な環境のもとで子どもが自己決定、自己選択できる機会をもち、自己肯定感を育めるような個別支援計画、活動内容に基づいてオーダーメイドの支援を実施します。 将来のその子に適した保育園、幼稚園への入園、または教育機関への入学、その後の社会生活の自立促進を目指し、子どもが自分らしく生きられるよう支援します。 子どもの成長に対して保護者とスタッフが学びあえる機会をつくり、それぞれに適した家族支援を考慮し、幅広く子どもの発達を保障します。						
営業時間		9時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	(なし)
支援内容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の状態をチェックすることで、自身の体調や状態への気付きや、それを伝えられる力に繋げる。 ・身だしなみを整える/スケジュール管理/金銭管理/調理する等、様々な経験を積み重ね、生活スキルの獲得と定着を支援する。 【内容】生活支援(衣類の着脱/手洗い/排洗面/ボタンかけ/お箸つかみゲーム等)、クッキング、カレンダー等の活用、買い物体験等						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・スイミングやサーキット等、「楽しい」「やってみたい」活動を通して意欲を引き出し、保有する感覚や運動機能を活用できるよう支援する。 ・理学療法士によるリハビリやアドバイスを取り入れ、心身機能の維持、向上につなげる。 ・日常生活を意識した感覚特性(過敏、鈍麻)への環境調整をおこなう。 【内容】スイミング、運動あそび(トランポリン/ドッジボール/ボールとばしゲーム/新聞じゃんけん等)、いろいろな体の動きチャレンジ等						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のあることや得意なことを通して、形、色、数量、空間等の概念形成を図り、認知機能の発達を支援する。 ・視覚的手掛かりやパーテーションを活用する等、主体的に行動できる環境を構成し、自分にあった方法/環境で「わかる」「できる」を体験を積む。 【内容】創作活動(アイロンビーズ、粘土等)、すごろく作り、机上教材(タングラム、積み木、マッチング等)、作業(仕分け、組み立て、パッキング等)等						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思い(要求/拒否等)を「伝えてよかった」と思える経験を積み重ねることで、相手の思いに気付き、聞いてみようとする姿へと繋げていく。 ・個々の強みや特性を把握し、意思のやりとりをおこなう手段(サイン、絵カード、機器、言葉等)の獲得を支援する。 ・友達とのゲーム活動、SSTの実践、スタッフや友達と会話をする機会等を通して、場面や状況に応じたスキルの獲得へ繋げる。 【内容】集団活動(カードトーク、クイズづくり等)、机上教材(SSTカード、スリーヒントクイズ、しりとり等)等						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる環境の中で充実感や貢献感をえられる体験を積み重ねることで、自信や挑戦してみたい姿へと繋げていく。 ・「自分を知る(好き/苦手、考え方、行動面等)」ことで気持ちを調整したり、必要な支援を要請したりする力へ繋げていく。 ・将来の生活や充実した余暇活動に繋がる体験の機会を確保する。(買い物、公共施設/公共機関の利用等) 【内容】創作活動、集団活動(ボールはこびゲーム/風船バレー/ジェスチャーゲーム/季節のイベント等)、役割分担のある活動、お仕事体験(作業→報告→報酬)、買い物体験、バス体験、屋外活動等						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの発達や日常生活、学校生活に関すること、きょうだい児についての相談等。 不安や悩みを安心して話せる信頼関係の構築に努め、一緒に解決策を考えていく。 ○おはなし会(保護者、先輩保護者、スタッフ等) ・「ちょっとみらい」:子どもや家族にとって少し先に待っている進学/就労についての話等 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ○学校を訪問し、学校生活の様子を見学・情報の共有。 支援会議への参加。 ○本人にあった方法や支援、環境調整等をライフステージ毎に引き継いでいけるよう、各関係機関(学校、就労先等)と連携を図っていく。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ○町内の連絡会、協議会等への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援連絡会(町内事業所、相談支援事業所との連絡会) ・愛南町教育支援委員会 ・自立支援協議会等 ○必要に応じて、学校や関係機関等と情報共有のできる場を設ける。 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学教育学部 吉松教授 講演会(年3回) ・南愛媛療育センター 勉強会 その他、外部研修、内部研修、オンライン研修へ参加 		

主な行事等	【行事/イベント】 6月頃、10月頃：さつまいも作り体験 8月：デイキャンプ 12月：クリスマス会 3月：クレッシェンド(文集)の作成	【その他】 ・クッキング(親子クッキング、中高生クッキング) ・屋外活動(買い物/バス体験、児童館、公園等) ・講演会、研修会 ・避難訓練
-------	---	---